



感染予防は石けんを使った手洗いと咳エチケット

マイコプラズマ感染症、手足口病、伝染性紅斑が流行しています。裏面に保健医療局の文書を載せましたのでお読みください。感染予防の基本は、「流水で石けんを使いこまめに手を洗う」「咳エチケット」です。具合が悪い時、咳が出る時はマスクの着用をお願いいたします。



4年生以上の希望者に 色覚検査を行います。

色覚検査とは

色の見え方を調べる検査です。

保健室で色覚検査表を使って調べます。結果は2学期中に個別にプリントでお知らせします。

学校の検査は診断ではありませんので、再検査が必要なお子さんは相談科を受診してください。

色覚異常とは

生まれつき色によって見分けにくい人がおり、日本人男子では約5%、女子では0.2%の割合で見られます。

本人や保護者も気づいていない場合があります。

検査のねらい

治療法はありませんが、自分の間違えやすい色を知ること、生活の中で注意することがわかります。また、ほとんどの職業に就けますが、なかには制限のあるものもあります。自分の体質を知り、今後の生活に役立てていくようにします。

検査を希望する場合

12月6日（金）までに連絡帳にてご連絡ください。

<伝染性紅斑とは>

伝染性紅斑は、感染症です。皮膚の発疹を主症状とします。

原因と感染経路

病源体は、ヒトパルボウイルスB19 (human parvovirus B19) です。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる感染（飛まつ感染）、あるいは、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる感染（接触感染）があります。

症状

約10日（4～20日）の潜伏期間の後、両頬に紅い発疹が現れます。続いて体や手・足に網目状の発疹が広がりますが、これらの発疹は、通常1週間程度で消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常や流産が生じることがあります。

治療

特別な治療法は無く、症状に応じた対症療法が行われます。

予防のポイント

予防接種はありません。予防には、手洗い、咳エチケットが有効です。

保育園や学校など周囲で患者発生がみられる場合、妊娠中あるいは妊娠の可能性のある女性は、できるだけ患者との接触を避けるよう注意が必要です。

咳エチケット

咳やくしゃみをする時には口と鼻をハンカチ等でおおひましょう。

人混みに行く時や会話をする時、咳やくしゃみの症状がある時など、着用が効果的な場面ではマスクをしましょう。